

## 蒲生干潟の植物④6

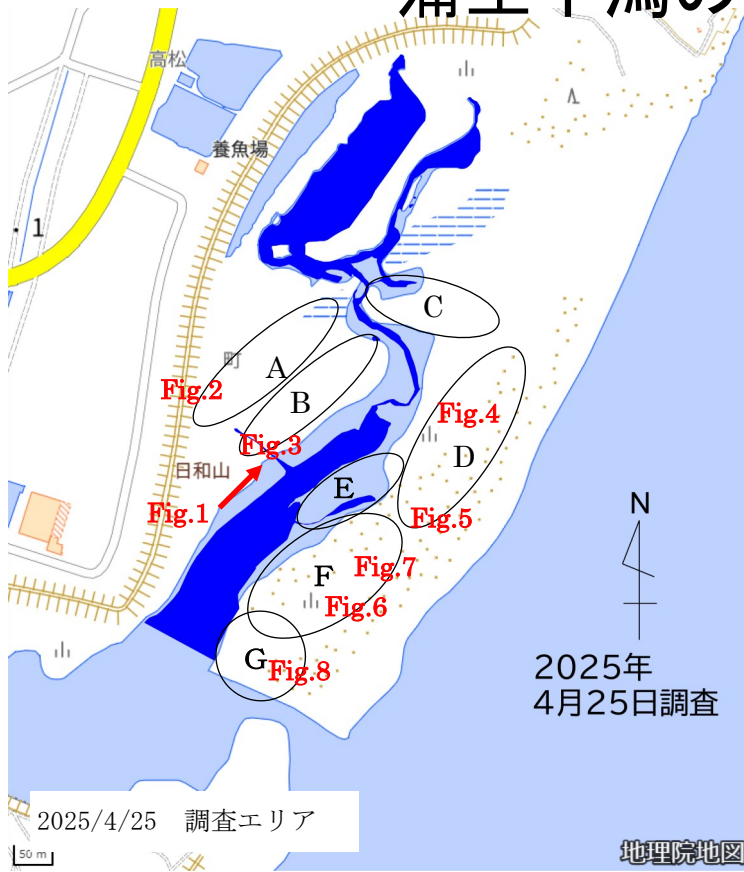


Fig.1 エリアBを南西側から撮影



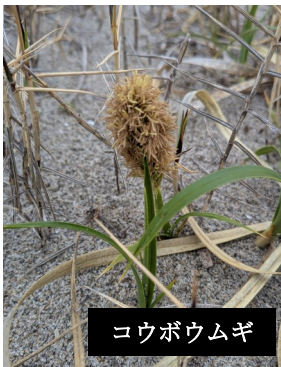
ヨシ



ハママツナ

Fig.2 エリアAで撮影

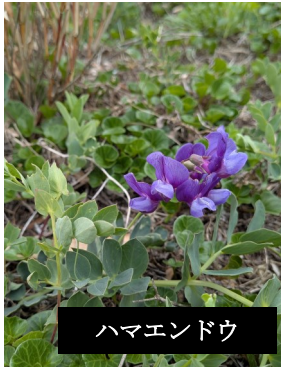
Fig.3 エリアBで撮影



コウボウムギ



マツ



ハマエンドウ



ハマニンニク



ハマボウフウ

Fig.4 エリアDで撮影

Fig.5 エリアDで撮影

Fig.6 エリアFで撮影

Fig.7 エリアFで撮影

Fig.8 エリアDで撮影

調査日時：2025年4月25日（金）9:45～11:15，天気：晴れ

午後の満潮に向けて水は引いた状態であった。定点観測では先月同様まだ緑の面積は低く全体的に茶色であった。しかし、先月に比べてエリアAのヨシは草丈が大きく伸び（Fig. 2），エリアBのハママツナの葉が密度濃く広がっていた（Fig. 3）。エリアDで撮影したコウボウムギはコウボウシバとともに干潟東側の広範囲でかなりの個体数が見られた（Fig. 4）。エリアDやFの複数箇所では先月よりも成長しているマツが見られた。写真の個体は高さ1m60cmほどまで成長していた（Fig. 5）。エリアDやFでは多くのハマエンドウが見られたが、特にエリアFに花が咲いている個体が多かった（Fig. 6）。ハマニンニクも干潟東側の広範囲で多く見られた。先月よりも草丈も大きく伸び、穂をつけている個体も多くあった（Fig. 7）。干潟東側ところどころでハマボウフウやハマヒルガオの葉が展開している様子が見られた（Fig. 8）。来月の調査の頃には開花が予想される。

（伊藤勝彦）